

JCI - TC101A

「微破壊試験を活用したコンクリート構造物の健全性診断手法調査研究委員会」
第7回 全体会議 議事録(案)

議事録担当:松林

日 時: 2012年3月13日(火) 10:00~12:00

場 所: JCI 12F 会議室

出席者: 二羽委員長, 安田副委員長, 堤幹事長

(幹事) 岩波

(委員) 岡本, 横沢, 森濱, 鎌田, 田村, 斉藤, 下村, 吉田, 小林, 谷村, 小川, 浅野, 松林

(事務局) 川上

以上 18名(敬称略)

資料:

- 7-0 第7回全体会議 議事次第
- 7-1 第6回全体会議 議事録(案)
- 7-2 委員一覧
- 7-3 報告書目次(案)
- 7-4 1章 コンクリート構造物の長寿命化とストックマネジメント
- 7-5-1 WG2 第7回議事録(案)
- 7-5-2 2. コンクリート構造物の健全性診断技術に関する現状と今後の展望
- 7-5-3 2.2 健全性診断技術に関する研究の現状
- 7-5-4 2.2.2 土木学会 335委員会および216委員会の概要
- 7-5-5 2.2.3 土木学会 338委員会の概要
- 7-5-6 2.2.4 土木学会 339委員会の概要
- 7-5-7 2.2.5 土木研究所・日本非破壊検査協会 検査・点検マニュアル
- 7-5-8 2.2.6 日本非破壊検査協会 RC部門(シンポジウム「コンクリート構造物の非破壊検査」)
- 7-5-9 2.2.7 土木学会 2007年制定コンクリート標準示方書【維持管理編】
- 7-5-10 2.3 健全性診断技術の活用実態(2.3.1 コンクリート診断士調査報告書A(2009)の分析結果)
- 7-5-11 2.3.2 コンクリートの微破壊試験・非破壊試験の活用方法に関するアンケートの分析結果
- 7-5-12 2.4 健全性診断技術の今後の展望
- 7-5-13 2.4.3 健全性診断における微/非破壊試験法の技術完成度と今後の展望
- 7-5-14 2.4.4 微破壊試験をより一層活用するために(コンクリート分析技術の活用)
- 7-5-15 2.4.5 微破壊試験をより一層活用するために(計測における信頼性の向上)
- 7-5-16 web アンケート結果の概要
- 7-6 WG3 報告書(素案:20120313版)
- 7-7-1 WG4の記述内容と執筆担当(案)
- 7-7-2 5.1.X 微/非破壊試験の位置づけ
- 7-7-3 原案(浅野) 1) 微破壊試験法によるコンクリート内部の健全性評価
- 7-7-3 微破壊試験による中性化深さの評価の活用について

議事:

1. 委員長挨拶(二羽委員長)

2. 第6回全体委員会議事録の確認(堤幹事長)

資料7-1に基づき、主に今後のスケジュールを踏まえた現状確認を行った。

3. 委員一覧の確認(堤幹事長)

資料7-2に基づき、報告書に記載する委員一覧の確認を行った。

- 各自確認し、修正点があれば堤幹事長まで早急に連絡する。

4. 報告書目次案の確認(堤幹事長)

資料7-3に基づき、報告書目次案の確認を行った。

- 「1.1 社会基盤の長寿命化への要請」が抜けているため修正する。

5. 各WG活動の報告

5-1. WG1の報告

・資料7-4に基づき、第1章の構成と執筆状況の報告がなされた。(田村主査)

- p.11 「(2)予防保全と微破壊検査」はここに載せるべきか。(横沢委員)
良いのではないか。
- p.18 「プレレスト協会」は正式名称とすべき(二羽委員長)
修正する。

5-2. WG2の報告

・資料7-3および資料7-5-1~7-5-16に基づき、第2章の構成と執筆状況の報告がなされた。(鎌田主査)

- WEBアンケート結果は全て報告書本文に載せるのか。
付録に分けるなど、報告書におけるグラフの記載方法を調整する。(鎌田主査)
- WEBアンケート結果グラフのWEB上での加工方法は不明。(松林)
Excel上でグラフ化する等により対応する。(鎌田主査)

5-3. WG3の報告

・資料7-6により、第3章の構成と執筆状況の報告がなされた。(岩波主査)

- 他の章の構成を踏まえ、章の最後に抽出した課題を解決するための提案を追記することを考えている。
(岩波主査)
- 事例収集結果の表については、詳細分析を行ったもの以外は付録にしても良いのではないか。
付録に分けるなど、報告書における表の記載方法を調整する。(岩波主査)
- 「本WG」という表現は報告書では使わない方が良い。
全体報告書に調整する段階で表現を改める。(岩波主査)

【報告書全体に関わる事項】

- 微破壊/非破壊検査の位置づけや用語の定義について、報告書の最初に「0章 はじめに」を設け、その中で説明する。(堤幹事長)

- 「微 / 非破壊試験」という表現で統一する。
- 図は極力白黒でも理解できるようなものとする。

6. WG4 の報告

- ・資料 7-7-1 ~ 7-7-4 により, 第4章の記述内容に関する検討状況の報告がなされた。(堤幹事長)
 - 第1章 ~ 第3章それぞれにおいて, 各章の内容を踏まえた今後の提案がなされるので, 第4章ではそれらを再確認し, 報告書全体の提案としてまとめる。
 - 資料 7-7-3 および 7-7-4 の内容を記載する章を調整する。

7. 今後の予定

- ・修正意見がある場合は, 3月21日(水)までに各WG主査へメールで連絡する。
- ・その後, 3月27日(火)までに修正を行う。
- ・3月27日(火) 読み合わせ
- ・委員のシンポジウムへの申し込みは, 当面のところ不要(一般聴講者の申込数により変更の可能性あり)。
- ・シンポジウム当日(6月1日(金))は, 午前中に集合となる予定。

以上